

令和元年度 森林環境譲与税に関する決算状況

事業名	事業内容・実績など	事業費 (円)
Ⅰ・林業担い手の確保・人材育成	「わかやまの森」次世代人材確保支援事業 【都市部での情報発信と林業就業へのトータルサポート】 都市部への林業就業PRとセミナーおよび就業相談会の開催 ・セミナー及び相談会：8回（71人） ・県林業PRのためのプロモーション動画の制作・発信および小冊子の制作・配布 【林業無料職業紹介事業運営】 わかやま林業労働力確保支援センターに林業に特化した無料職業紹介機能を付与し、Webサイト「わかやま森林の職業紹介ナビ」を開設 ・求人登録者数：12事業体 ・求職登録者数：14名（相談回数58回）→就業：6名	17,700,548
	農林大学校林業研修部事業 【最先端林業を学べる環境整備】 農林大学校林業研修部における最先端林業を学べる研修設備（森林3次元計測システム、動作分析ソフト、ハーベスタシミュレータ）の導入 【林業経営コースの研修内容拡充】 木材流通における最下流からの視点を養う木造建築研修、森林3次元計測システムを活用したレーザー計測研修、自己啓発セミナーを新規研修として実施	14,970,069
	森林・林業雇用総合対策事業 【安全作業を学べる環境整備】 県農林大学校林業研修部への安全研修設備（かかり木処理練習設備）の導入 【現場指導者の育成】 林業事業体の現場作業班において指導的立場にある班長クラス職員の指導スキル向上のための研修を実施 ・研修（4日間）：1回（6人）	4,103,000
	森の守り人支援事業 【意欲と能力のある林業経営者向け研修】 林業経営者向け研修の実施 ・研修：2回（343人） 【伐木技術競技会】 安全で正確なチェーンソー技術の研鑽と啓発のための競技会開催 ・競技会：1回（12人）	2,758,534
	森の守り人支援事業 【市町村職員等研修・巡回支援】 森林経営管理制度の円滑な実施を行うため、市町村職員等を対象とした研修の実施と定期的な巡回支援を委託により実施 ・研修：6回（35人・延べ123人） ・巡回支援：6巡（30市町村） 【森林資源情報整備】 既存の航空レーザー測量成果等を活用し森林資源情報の解析や地形情報の整備を行い、市町村へ提供することで森林経営管理制度への取組を支援 ・対象森林面積：999.7km ²	50,866,200
Ⅱ・市町村への支援	森の守り人支援事業 【紀伊半島3県共同研究】 紀伊半島3県の共通課題解決に向けた共同研究実行委員会の設立と研究課題について協議 【制度の普及啓発等】 森林経営管理制度等の新制度について普及啓発活動を行う ・講演会：1回（163人） ・パンフレット作製・配布	725,528
Ⅲ・取組その他の		
計		91,123,879
森林環境譲与税活用基金造成	今後継続して実施する市町村支援や林業担い手対策に関する事業実施のための基金積立	5,005,056
合計		96,128,935

森林環境譲与税活用の効果

・県内30市町村のうち5割を超える16市町において森林経営管理意向調査が実施されるとともに、2市町において森林経営管理権集積計画が作成されるなど、今年度から始まった新しい制度（森林経営管理制度）の円滑な実施につながった。
 ・喫緊の課題である林業従事者の確保においては、前年度11名であった新規就業者数は令和元年度は32名に大きく増加した。また、令和2年度の農林大学校林業研修部への入講者数は定員10名に対して過去最大の9名となった。